



夢への飛躍

金沢桜丘高校いしかわニュースーパーハイスクールだより



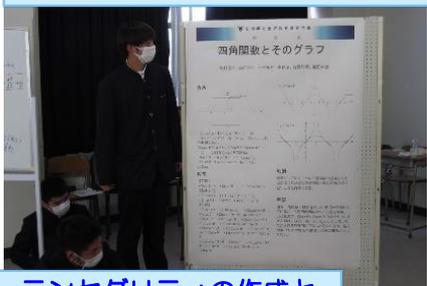
令和3年度 第7号
編集：NSH推進課
発行責任者：正村泉一

NSH 課題研究発表会

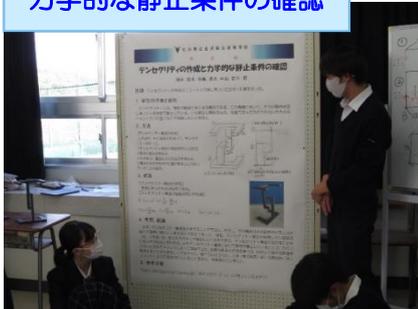
自然科学コース

自然科学コースでは、11月3日(水)、本校大講義室にて、石川県立大学より講師お二人をお招きし、課題研究の発表会を行いました。班ごとに科学の分野から研究テーマを選び、6月から研究を進めてきました。研究の成果をポスターセッション形式で話し手・聞き手を交代しながらお互い発表しました。生徒間で積極的に質問する姿が見られ活発な意見交換が行われました。

四角関数とそのグラフ



テンセグリティの作成と力学的な静止条件の確認



ピンゴの最適なペース配分



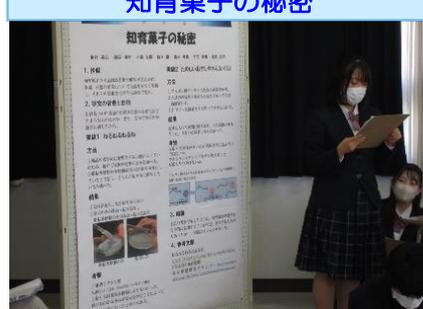
セイロンバンケイソウの葉の違いによる発芽率



USJの最短のまわり方



知育菓子の秘密



～講師の先生方の講評より～

- 石川県立大学教養教育センター 准教授 稲葉 宏和 先生
 - ・オリジナリティがあり面白いものばかりだった。
 - ・自分だったらこうすると考えたものと計算で導き出したものの違いをくらべるのも面白いのでは。
 - ・研究したものが実際に利用されるとしたらどうか等、また深く追及するきっかけになると素晴らしい。
- 石川県立大学生物資源工学研究所 助教授 中谷内 修 先生
 - ・とてもレベルの高い興味深い研究テーマばかりだった。
 - ・研究のフォーマットがしっかりできていて素晴らしい。
 - ・大学では人がやっていないことを見つけて研究する。普段意味のないこととされていることから意義を見出す発想や考えが必要。今日の発表をきいてとても将来が楽しみになった。ありがとう。

～発表会を終えて感想～

- 発表する際に、視覚聴覚どちらでもわかりやすく伝えることは難しいと実感した。研究から発表への一連の流れを経験することができたし、探究する楽しさを学んだ。
- 一つの結果で様々な見方ができることが分かった。質問を受けることでより研究が深まったと思う。
- 聞き手に分かりやすく理解してもらうために、実践でやってみたり、見せたりすることが大切。
- 自分たちで考えた研究を発表して、指摘してもらい次はもっとうまくできると思った。他の班の発表をきいて、他の分野でも興味が湧いた。